

令和4年度 看護師等キャリアアップ支援事業の実施状況

※令和3年度新規事業（東京都看護協会委託）

事業の概要

- 【目的】 ○医療機関における特定行為研修等に関する理解を深め、特定行為研修を修了した看護師等の活躍を促進する。⇒チーム医療・看護師の質の向上の推進
○専門性の高い看護師のキャリアアップを支援することで、モチベーションの維持・向上による定着促進を図る。⇒離職防止
- 【実施方法】 東京都看護協会へ委託

R4年度実施状況

○令和4年度東京都看護師等キャリアアップ支援事業実施に係る調査の実施

- 【調査内容】専門的看護師の在籍状況、特定行為の実施状況
【調査対象】都内病院（631施設）
【調査期間】令和4年6月13日～令和4年6月28日
【調査時点】令和4年4月1日時点
【回答方法】電子申請システム上で回答
【回収率】42.8%(R3 36.1%)

《調査結果概要》

- 特定行為研修修了者在籍施設率 32.6% (R3 32.0%)
○特定行為研修修了者在籍施設における特定行為実施率 67.0% (R3 59.5%)
○特定行為実施の効果 ①タスクシフト・シェア、チーム力向上、②早期発見・早期対応、早期回復、③看護実践の質向上など

○シンポジウムの開催（オンライン開催・ライブ配信）

特定行為研修修了者の活動等をテーマとして、専門性の高い看護師の活用が進んでいる施設の管理者や特定行為研修修了者が講演
《対象》：施設管理者、看護管理者、医師、看護師、事務等（看護外来の設置済み医療機関、介護系施設も含む）

	実施日	テーマ	参加人数
1回目	令和4年11月12日(土) 13:00-16:00	「慢性期医療における特定行為研修修了者への期待と活動の実際」 ・特定行為とは～慢性期医療の質の向上における特定行為研修修了者への期待～ ・病院における特定行為研修修了者の活動の実際と課題 ・グループワーク・報告	40 (うち訪看12)
2回目	令和4年12月17日(土) 13:00-16:00	「訪問看護ステーションにおける特定行為研修修了者の活躍」 ・特定行為研修修了者が活躍できる訪問看護ステーション経営 ・特定行為研修修了者が活躍できる準備と土台づくり ・在宅医療における活動の実際と今後の展望 ・グループワーク・報告	38 (うち訪看24)
3回目	令和5年1月7日(土) 13:00-16:00	「医療機関において特定行為研修修了者が活躍するための仕組みづくり」 ・特定行為研修修了者の活動を支える組織的配置と仕組みづくり ・病院における特定行為研修修了者が活躍するための仕組みづくり ・グループワーク・報告	57 (うち訪看5)
			135

（参考）令和3年度実績

開催方法：オンライン開催・ライブ配信、実施回数：3回、参加人数：371人

第1回 看護師の「特定行為」に係る施設の方針決定と開始までのプロセス、急性期病院における特定行為実践、看護管理者が特定行為実践者に期待すること

第2回 慢性期病院での活動の実際と課題、急性期病院での活動の実際と課題、特定行為研修修了者の活動の実際と課題

第3回 在宅・慢性領域における訪問看護室での実際と可能性、在宅医療・緩和ケア領域での活動の実際と可能性、医師から見た特定行為研修修了者の活動の実際と可能性